

2021年度 自己点検・自己評価項目

上山学院日本語学校

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらとも言えない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等		評価
1	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1	1-2 学校の特色は何か	5
1	1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
1	1-4 理念に基づく教育が行われているか	5

<現状・具体的な取組/課題>

- ・上山学院日本語学校の規定されている理念・目的等に基づき年度はじめの講師会で確認している。
- ・学生に対しては、入学時のオリエンテーションで説明している。
- ・定例の講師会での教員の現況報告に対して、校長が直接指導助言をしている。
- ・学校の教育活動の全てのフィードバックを次年度も取り組んで行く。

2. 学校運営		評価
5	2-1 運営方針は定められているか	5
6	2-2 事業計画は定められているか	5
7	2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	4
8	2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	4
9	2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
10	2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
11	2-7 危機管理体制が整備されているか	5
12	2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

<現状・具体的な取組/課題>

- ・管理職会、企画委員会等を毎週行い、常に計画的な学校運営に臨むことができた。
- ・校内におけるコロナウイルス感染予防体制を作成し、国県の指示に適切に対応することができた。
- ・地域の公共機関（中区役所）や所轄署（中警察）と密に連携を取っている。
- ・定期的に安全点検を行い、環境整備に取り組むことができた。

3. 教職員		評価
13	3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか	5
14	3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	5
15	3-3 教職員評価を行っているか	4

<現状・具体的な取組／課題>

- ・定期的に職員会を実施し、授業内容、HRでの学生情報、学校行事運営などの確認ができた。
- ・教員間で、教育方法や教育内容の研究に取り組み、定期的に評価をし合うことができた。
- ・年2回の定期の教職員との面談を通して教員評価をしてきた。

4. 教育活動		評価
16	4-1 カリキュラム体系的に編成されているか	5
17	4-2 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
18	4-3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
19	4-4 成績評価は適切に行われているか	5
20	4-5 資格取得の指導体制はあるか	4

<現状・具体的な取組／課題>

- ・入学時期や能力に応じた学習カリキュラムを作成することが。
- ・必要に応じて、教員による授業参観の機会を設定した。
- ・成績不振者に対しては、課題をによる学び直しや追試験で指導をした。
- ・学生による教員評価アンケートを実施し、教員の振り返りの参考にした。

5. 学校運営		評価
21	5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
22	5-2 学生相談に関する体制が整備され、有効に機能しているか	5
23	5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
24	5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
25	5-5 保護者と適切に連携しているか	4
26	5-6 卒業生への支援体制はあるか	5

<現状・具体的な取組／課題>

- ・学生センターで、担任を中心に全教職員が学生相談に対応している。
- ・新年度や入学時に健康診断（近隣の病院）を実施している。
- ・学生寮の管理者との情報交換を密にし、問題発生時の早い対応ができています。
- ・卒業生の大学生活での悩みや就職等の相談に支援を続けている。

6. 在留管理と生活指導		評価
27	6-1 入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
28	6-2 日本を理解するための支援が適切に行われているか	5
29	6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
30	6-4 常に最新の学生情報を把握しているか	5

<現状・具体的な取組／課題>

- ・名古屋入国管理局と密に連携をとり、手続きや処理に万全の体制で臨むことができた。
- ・生活指導担当により、学生の様子を定期的にエージェントに報告している。
- ・担任による学生面接を計画的（月に1回程度）に行い、学生の問題解決に努めている。

7. 学生の募集と受け入れ		評価
31	7-1 学生の受入方針は定められているか	5
32	7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
33	7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
34	7-4 入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	5
35	7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか	5

<現状・具体的な取組／課題>

- ・コロナにより、新入生の入学がストップし、前期は2年生のみの授業となった。
- ・コロナにより、通常の定員にはなっていない。
- ・日本への入国ができなくなる期間が長く続き4月入学予定の新入生の入学待機のメンタルのケアが難しかった。
- ・信頼できる現地のエージェントと事前の協議をしっかりと行っている。

8. 財務	評価
36 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
37 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
38 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
39 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	5

<現状・具体的な取組／課題>

- ・設置母体である中統興産株式会社により、中長期的に安定した状況になっている。
- ・会計監査は、公認会計士によって適正に処理されている。

9. 法令等の遵守	評価
40 9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
41 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策が	5
42 9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか	5
43 9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
44 9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取組／課題>

- ・常にコンプライアンスを意識した行動をするように、教職員に伝えている。
- ・今後も、継続的な自己点検・自己評価により、課題点を発見し、改善を進める。
- ・法廷遵守を常に心がけた学校経営に務める。